

茫  
然  
焉

第四十一号

福岡大学学術文化研究会書道部

# 《 卷 頭 詩 》

都をばなれて

ひとり歩く水仙の河原に

きよう限りの光をおしむ

野原の端にわくり会う

この野いはらの実につく

霜のわくみの祈りよ

せきれいの鳴くせせらぎの

寂光の女のこころは

岩をぬらして流れては

水車をまわしくたけては

永遠に流れまた静かに

もどつて秋の旧春の日に

またわくり会う夏の香りに

またわくり会う新たな思いに

冬の衣に残る光をおしむ

西脇 順三郎「水仙」



# 【目次】

卷頭詩	1	福岡大学学術文化部会書道部規約	4
発刊にあたって	3	福岡大学書道部書心会規約	4
第四十代基本方針	3	部員名簿	4
福岡大学四十周年記念展 展示作品	5	書心会名簿	4
特別寄稿		平成十二年度書道部及び書心会役員名簿	6
「未来を据えて」	部長 青木 文夫 17	編集後記	6
「執筆法」	講師 大原 蒼龍 18		
「六十歳からの再出発」	書心会会長 柴田 一夫 18		
「課外活動の本質」	常任幹事会幹事長 藤原 昌也 19		
部員寄稿			
「学生生活」	2		
「輝く時」	2		
「私の自慢話」	2		
「幸せ」	3		
「家族」	3		
年間行事			
「春季合宿」	3		
「新入生歓迎会」	3		
「夏季合宿」	3		
「七隈祭」	4		
「四十周年記念展」	4		



【第四十一号「荒鷲」発刊にあたって】

この度、我が部の機関紙であります「荒鷲」が発刊できますことは、私達部員にとりまして誠に喜ばしいことです。

福岡大学書道部は、昭和三十五年創部以来、目覚しい発展を遂げ、今年には創部四十周年を迎えました。急激な時代の変化とともに学生本来の姿を問われる中で、諸先輩方が築き上げてこられた良き伝統を引き継ぎながら、時代のニーズに適応した若き感性を持つ我々現役部員が新たな風を吹き込みつつ更なる発展を目指していききたいと考えております。

最後になりましたが、「荒鷲」四十一号発刊に際し、多大なる御尽力を賜りました諸先輩方、関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第四十代幹事 三好 幸弘

【第四十代基本方針】

我々書道部は思いやりを基調とし、部員相互の団結を強固なものとする。

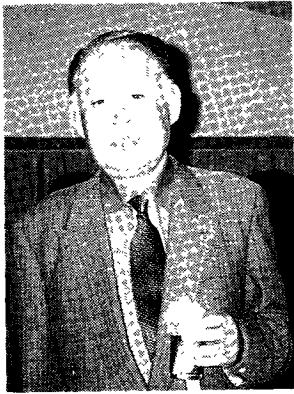
創部四十年という節目にあたり、今まで培われてきた先輩方の伝統を生かし、OBとの四十周年記念展を行うことにより、より一層活動の場を広げ体外的にもアピールを図るとともに、部員同士が切磋琢磨し書技向上を目指す。

【第四十代練習方針】

我々第四十代が掲げる基本方針をふまえ、練習は全員が積極的に行う。基本を古典の臨書とし、多くの書体・書風に意欲的に取り組むことで書の魅力を感じとる。書技の向上だけでなく、知識の向上も目指すとともに半紙練習にも力を注ぐ。



部長  
青木  
文夫



書心会会長  
柴田  
一夫



講師  
大原  
蒼龍



《 第40代役員一同 》

福岡大学書道部  
四十周年記念展展示作品



一年 永山 義弘

鳥官人皇始制文字乃服衣裳  
推位讓國虞有陶唐吊民伐罪  
周發殷湯坐朝問道垂美弘臨

一年 吉川 潔

夜半墨池放光其  
陰只有黃辭亦江  
夏之筆而也各潔臨

一年 森 寿徳

白雲然秋月但只出或影及反得古月首  
古者之い如前 座口福若古涉座下不  
一の之中在舞之力也一王軍一何古也各

一年 平尾 浩子

生不之立者之是道未乃此  
生不之立者之是道未乃此  
生不之立者之是道未乃此

雖近陵之觀昔詩鄭  
公之聽宋樂其若

朋子臨

一年 宮本 朋子

學然後知不足

是子

一年 桑野 愛子

鑒賞絕倫  
遠服君風  
遙深紆縞  
感禰在朝  
宜借副書  
轉授尚書  
南主客太  
守分竹一  
邦績

千鶴

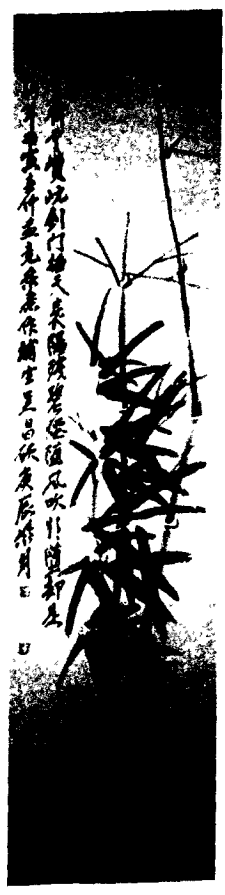
一年 福留 千鶴



二年 岡田 春霞(貴子)

題扇詠懷故篇中得於自叙而轉接字措  
妙於自敘唐人百韻杜台皆偶句精做  
字峭拔真千古獨擅之技小澹研 玉泉

二年 山手 紫月(麻美)



竹實沈竹地天長陽暖碧徑隨風吹竹韻却  
竹實沈竹地天長陽暖碧徑隨風吹竹韻却  
竹實沈竹地天長陽暖碧徑隨風吹竹韻却

二年 玉川 美泉(美穗)

玉川美泉(美穗) 二年  
玉川美泉(美穗) 二年  
玉川美泉(美穗) 二年

二年 藤本 静蕙(寛子)

下憐而皇中... 藤本静蕙(寛子) 二年  
下憐而皇中... 藤本静蕙(寛子) 二年  
下憐而皇中... 藤本静蕙(寛子) 二年



三年 川原 青海(敦志)

走寬全消  
見熒點落  
學聽數聲  
啼鳥羸絳  
割斷推半  
窗明月臥  
一榻清風

三年 川原 青海(敦志)

貧賤不能移

三年 松

三年 松下 翔雲(健太郎)

三年 槻木 神海(和孝)

給馬陽水方桂細羊阜英付子各三公達五  
諸絕之黃至靡敲去亭股寒曾載馬六  
年子驚隋血中息與君方服之廿日

三年 三好 嵐舟(幸弘)

雨色霏<sub>々</sub>暮柳<sub>々</sub>傷客念孤棧村稀小邑老馬帶

危途樹影薄<sub>々</sub>光<sub>々</sub>照天<sub>々</sub>痕<sub>々</sub>后<sub>々</sub>性<sub>々</sub>枯<sub>々</sub>目<sub>々</sub>邊<sub>々</sub>離<sub>々</sub>金<sub>々</sub>草

離笑<sub>々</sub>款<sub>々</sub>矚<sub>々</sub>松<sub>々</sub>冕

清和正作已丑秋學於書局  
西王致年親文已未秋冊

三年 龜山 芳蘭(知美)

樓鼓聲中日已斜<sub>々</sub>邊<sub>々</sub>方<sub>々</sub>愈<sub>々</sub>覺<sub>々</sub>在<sub>々</sub>了<sub>々</sub>涯<sub>々</sub>夕<sub>々</sub>來<sub>々</sub>客<sub>々</sub>土<sub>々</sub>生<sub>々</sub>秋  
草<sub>々</sub>野<sub>々</sub>濛<sub>々</sub>虛<sub>々</sub>并<sub>々</sub>系<sub>々</sub>淡<sub>々</sub>楊<sub>々</sub>柳<sub>々</sub>窈<sub>々</sub>不<sub>々</sub>辨<sub>々</sub> 連<sub>々</sub>下<sub>々</sub>始<sub>々</sub>便<sub>々</sub>歌  
相<sub>々</sub>爭<sub>々</sub>三<sub>々</sub>色<sub>々</sub>極<sub>々</sub>白<sub>々</sub>空<sub>々</sub>塵<sub>々</sub>添<sub>々</sub>酒<sub>々</sub>自<sub>々</sub>惟<sub>々</sub>雲<sub>々</sub>山<sub>々</sub>美<sub>々</sub>覺<sub>々</sub>遠<sub>々</sub>暮<sub>々</sub>暮<sub>々</sub>



昭和三十九年度卒 西 隆義

西 隆義 (Calligraphy)

昭和四十三年度卒 原 博幸

原 博幸 (Calligraphy)

昭和四十三年度卒 徳久 朔雲 (政機)

徳久 朔雲 (Calligraphy)

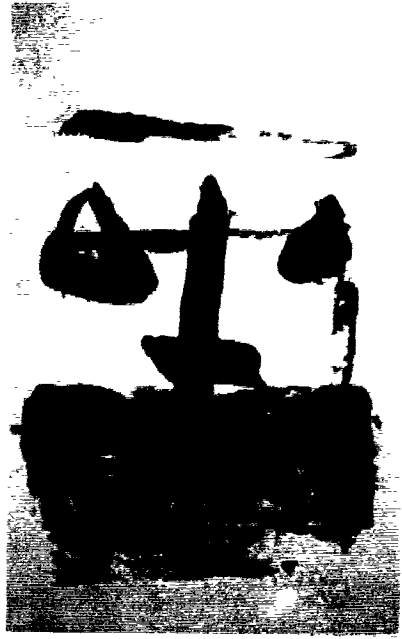
昭和四十三年度卒 平井 栖空 (晴彦)

平井 栖空 (Calligraphy)

昭和四十四年度卒

前崎

鼎之(恒春)

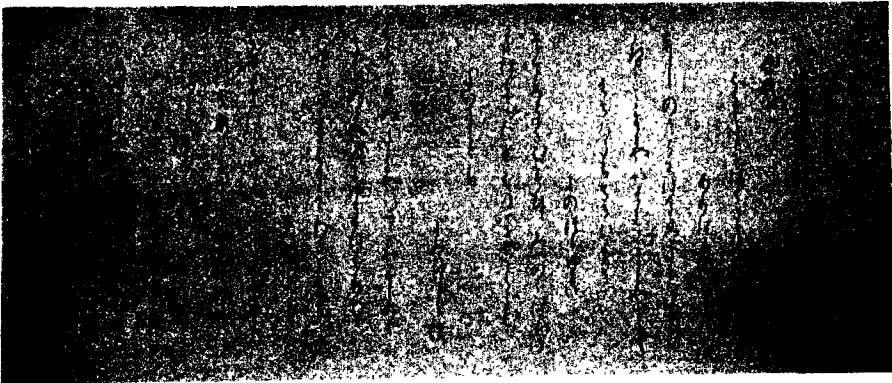


昭和五十一年度卒

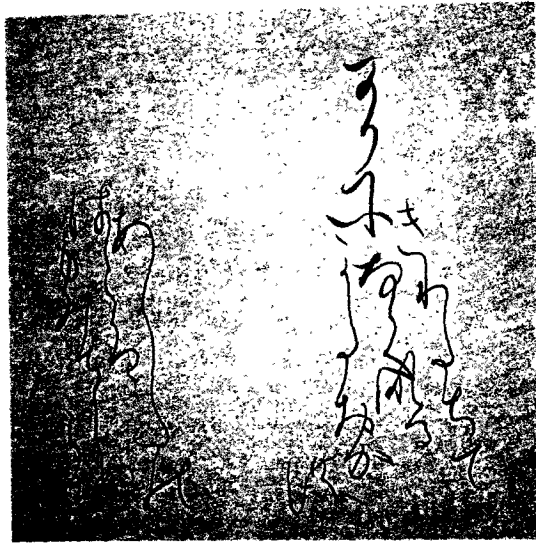
山村 昌次



昭和五十七年度卒 床嶋 三紀子



昭和五十八年度卒 満生 憲親

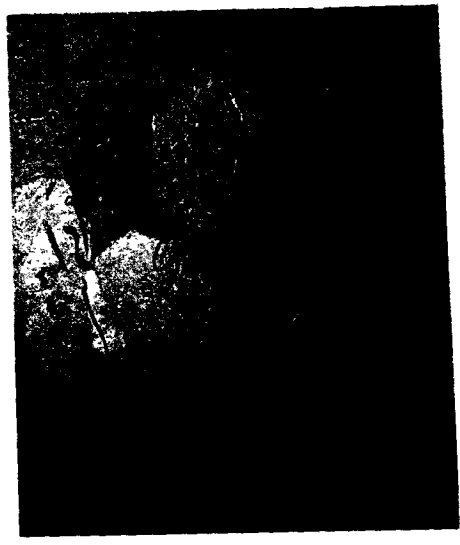


清江一曲抱村流  
 長江如畫一時收  
 相認東山寺  
 多為家  
 須學  
 如雲  
 物  
 涉  
 難  
 矣  
 安  
 何  
 取  
 也

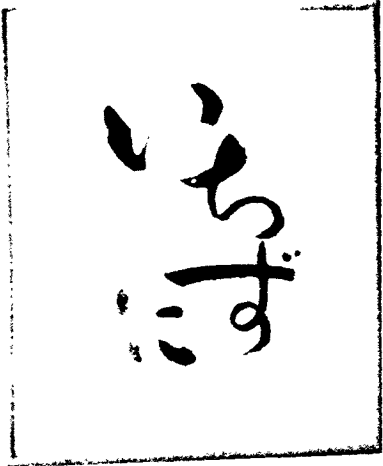
平成十年度卒 進藤 翠華 (久美子)

昭和五十八年度卒

中村 青濤 (純一郎)



平成七年度卒 牧本 朋子





特別寄稿

やくべつぎこう



未来を見据えて

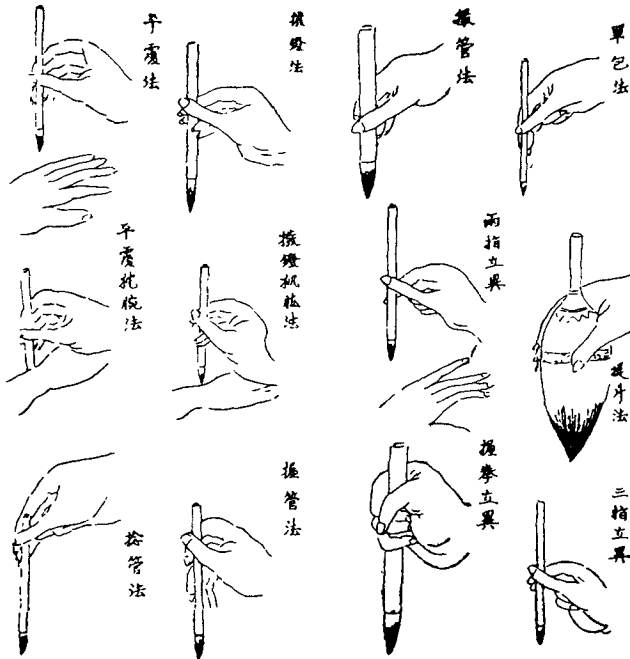
書道部部长 青木 文夫

福岡大学書道部創設四十周年を記念しての書道展に際しましては、書心会会長を始めとして書道部出身の皆様の温かいご声援と素晴らしい作品の出品に対して、心からお礼申し上げます。また、現役員諸君にも、不断の積み重ねの成果を発揮されたことに対し、心からおめでとうの言葉を送りたいと思います。

さて、簡単に一言、書道部の未来についての管見を述べて、役員諸君への激励の言葉としたいと思います。

いよいよ二一世紀も間近になって、情報の高速化に伴うデジタル化社会の荒波の中に、人間と人間の繋がり、家族の絆、本当の友情、といった有機的な、目に見えない関係が徐々に埋没していつてしまうかもしれません。でも、私たちは人間です。有機的な存在である人間が、無機質の世界に埋もれてしまったら、人間の本質さえもなくなってしまうかもしれません。有機的な存在の本質、それは心です。どこかで心の動きを感じ、心の動きを修練し、心の動きを豊穡としたものにしていかないと、無機質な世界に溺れてしまうことになりま。書に向かうとき、君たちの心はどうなっているだろうか。もちろんデジタルな書があってもいいと思うが、心の修練としての書を通じ培われた君たちの人間性は、きつと他の人には驚きと、喜びと、感動をもって受け入れられるに違いはない

と思います。有機的な温かい心だけが、無機質の心を揺り動かし、目覚めさせることができるのです。書と同時に心を磨け、そうすれば、未来が君たちを暖かく迎えてくれる。



## 執筆法

大原 蒼龍

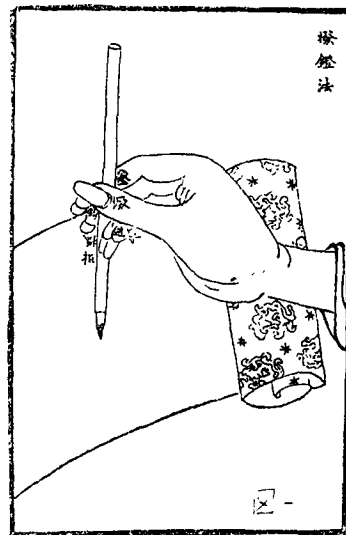
「執筆法」とは、所謂筆の持ち方の事を言います。さて、部員諸君を含め、書に関心のある方達でこの「執筆法」について真剣に気を配っている人はどの位いるでしょうか。私は日頃よりこうでもない、ああでもないとかかなり苦心しており、己の非才と不学を歎いている次第です。では、どの様な持ち方が一番良いのでしょうか。答えは「無一」。つまり、どの様な持ち方でも良いのです。私なりには、書体・古典・文字の大きさ・筆等に応じたその人なりの最も理にかなった持ち方をするのが適当だと思つています。しかし、それでは具体的な答えが何もありません。しかも、それでは具体的な最もオーソドックスと言われ、何度も論じられている執筆法をここで紹介しましょう。

### 《撥鐙法》

「撥鐙とは、大指（親指）・食指（人指しゆび）・中指（中ゆび）をあつめて筆管を撮むこと、鐙（ともし火）を執りて挑ぐるが若くす。面して撥鐙法なり。」

つまり、撥鐙法とは、図一に見るような現在でいう所の双鉤法を言います。また、江戸時代の市河米庵は「執筆の法は、撥鐙を最上とす」と言っており、日本においてもこの撥鐙法を第一としていた事が分かります。

書を学ぶ者として、執筆法は最初にぶつかり、終生つきつめていくべき問題点といえます。今一度、筆の持ち方について再考されてみては如何でしょうか。参考までに書論に載っている他の執筆法を図二に紹介しておきます。



### 六十歳からの再出発

書心会会長 柴田 一夫

とうとう六十歳の還暦と言う峠を越えてしまった。書道部を卒業して三十八年、生涯の半分はサラリーマンで終わつたが、定年を迎えた今、自分のこれまでの人生は何だったんだろうか、自問自答する余裕が初めて出て来た感じがします。

得意先の無理難題にも笑顔で回答し、上司との激突にも最後は納得した素振りを示す余裕、同僚との熾烈な競争、部下を甘やかさず厳しすぎず、いつて見せて教える難しさのサラリーマン時代でありましたが、三十八年間体に染み付いたサラリーマンという垢はなかなか拭い去る事はできません。退職して三ヶ月になりますが、毎日一回は必ず会社の事が思い出され気になります。いやな習性に汚染されているのだなあと心の中で苦笑している昨今であります。

しかし、いつまでも郷愁を慕っているのはこれからの人生の舵取りに支障をきたしかねません。そこで第二の人生の設計図を作成いたしました。まず教養面では「水墨画」を体作りには「太極拳」をカルチャーセンターに通うことに決めました。又幸いな事に田畑を少々所有していますので、カルチャーセンターの合間をぬって野菜作り（当然無農薬の自然野菜）をしようと思ひ決めました。

このように六十歳過ぎても考え様では、今までの人生とは百八十度の自分のやりたい事をやりたい時にやれる事の素晴らしさは、何と素晴らしい人生だろうと思うようになり、六十歳は隠居の年齢ではなく、人間として本当の人生の出発点である喜びに気付き、これからも素晴らしい人生を全うする自信が出来ました。素晴らしき人生万歳！！

## 大学生生活の課外活動に於ける本質

学術文化部会 幹事長 藤原 昌也

大学生生活には正課の授業とは別にサークル活動、つまり課外活動という場が存在する。そこにおいて正課の授業では得ることのできないものがあり、それは言わば人間形成が図れるものと言っている。今の学生の人間性・社会性の程度を考えてみると低迷しているのではないだろうか。

現在の福岡大学の学生を見ると、常軌を逸脱した行動を為す学生が増えてきている。授業態度、喫煙・駐輪マナーの悪さなどという問題が多く点在している。そして今、最大の問題と考えるのは学生が将来の方向性を定めず路頭に迷い、ただ漠然と学生生活を送っていることであると言える。

我々、学術文化部会という組織は自主的創造活動に基づき学術研究・文化活動を通じ各部の相互連携を図り学術文化の向上を目的とし、幅広い創造性、知性を身に付け人間形成を図るべく日々活動を行っている。各部それぞれ特殊性・サークル性両面からの追求だけでなく社会で必要な礼儀、団体生活に於けるマナーも身に付けて、それが言わば人間形成を図る第一歩につながるものと考えている。又、大学生生活における課外活動では様々な人と出会う様々な刺激を受ける。人間一人一人の考えはもちろん十人十色で、誰も立ち入る事のできない深い道程にある訳であり、サークルという一つの輪の中でお互い個性を出し

合い、それぞれが切磋琢磨し目的に向かい進む事は少なからず  
何かにつながるはずである。

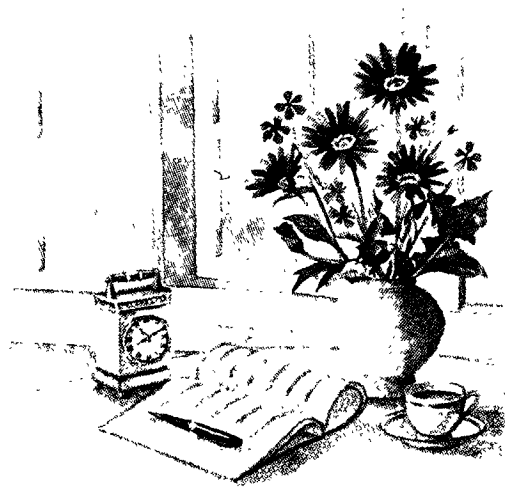
ここまで堅く理想的記述で書いたが何よりサークルにおいて、  
一番は人間関係であろう。サークル事、私事で飲み明かし、語  
り明かすのもいい事だ。遊ぶことも一つの人間形成だ。

ただ漠然と学生生活を送るのではなく、何事も指標を定める  
事。それは小さなところから良い。その一つ一つのチェック  
ポイントでいかに楽しみ、いかに学び、ゴールに近づけるか。  
それは言うまでもなく本人次第であるが、その上で、サークル  
に入る事は必ずゴールの近道になる事と確信する。



部員寄稿

おいらんきこう



# 『学生生活』

ルンルン学生生活

一年 森 寿徳

## 私の学生生活

一年 平尾 浩子

私の学生生活は、毎日とても平凡です。いつも家と学校の往復しかしていません。バイトもしているので、休みないです。バイトは、ヒマすぎてきついし・・・いつもおしゃべりばかりしています。コンビニでバイトしているのですが、少し自分のことを話したり、恥ずかしいことを見られたりしたら、次バイトに行ったときみんな知っています。この前、同じバイトの人たちと飲みに行ったのですが、私は酔って足をくじいた上、自転車をとられ、しようがないので鍵が付いてない自転車をもらってしまったことがみんなにばれていて、慰められてしまいました。すごく恥ずかしかったです。ちなみに足はまだなおっていません。学生生活と関係有るのかどうかわかりませんが、私には人の話をあまり聞かないという悪いクセがあります。いつも半分くらいしか人によって聞かないときがあるのでたまにすごい事を約束していたりします。この前もいつのまにか友達の家に行きまわした。泊まる約束をしていたらしく、あわてて友達の家に行きました。ちゃんときかなきゃいけないとはわかっているのですが、いつも聞き逃してしまふんです。学校でもそんなことはあつて、大事なことを聞いてなかったりします。ボーっとしすぎないように、明日も学校だけ欲しいことありますように。

「単位をください・・・。」これはテストが近づいている僕の心境です。僕は前期の試験で痛い目にあいました。松尾先輩から言わせると相当ヤバイらしいです。自分でもそう思います。留年は絶対したくないので、後期は本気でガンバリマス。皆さあーん、結果をお楽しみに！

最近、たまに映画を見るようになりました。学生生活が暇な証拠です。でも映画は暇つぶしには最高な物で、笑ったり、ハラハラドキドキしたりする。無感動無関心なまま一日を過ごすよりはずっと充実した気持ちで一日を過ごせます。皆さん、暇で暇でしようがなくて「刺激がほしい」というときは、映画で感動してみてはいかがでしょう？

今から来そうなマイブームは、「PRIDE」。もう今となってはヒクソン・グレイシー、桜庭和寿などが出てきて有名ですが、格闘技です。知らない人がいたら、一度見てみた方がいいかもしれません。「K-1」より絶対面白いです。

最近、よく食べます。ちよつと前に、吉川くんも「最近よく食べる。ふとつたり。」などといっていました。そんなことは関係なく僕はもっと食べつづけて太っていきます。永山くんはすごいです。すばらしい金運の持ち主です。運ではなく、実力でお金を増やしていきます。今度の宝くじ、有馬記念も当ててくるかもしれません。実力で・・・

僕はなんて退屈な学生生活を送っているのでしょうか。まあこれからも退屈に生きていきますけど……。でも、戦闘力を上げないといけません。

おわり

## 学生生活

二回生 山手 麻美

「華の女子大生」。今のところ、私にとって全く無縁な言葉である。現在、東京都心へ遠距離通勤している中年サラリーマンのような生活。毎日、家には寝に帰るだけ、というような。さて、現在、部では役員改選にあたっての話し合いが連日続いており、否応なく、「学生生活って何だろう」と考えている日々だが、来年はもう3年生になる訳で、就職の話も現実味を帯びている。よって、この時期もう一度、自分にそれを問うてみるのも悪くはない。

学生生活には色々あると思う。「遊びオンリー」「勉強オンリー」「遊びと勉強の両立」等々。私はこれらのいずれにも属していない気がする。「遊び」に関しては、文頭にもあるように、家が遠いため無茶な(?)遊びは出来ない。「勉強」もガリガリとやっている訳ではない。私は経済学部部に所属している。元々、経済学部志望ではなかったのですが、専門科目の講義には、なかなか興味を持ってない。唯一、ゼミと教職課程に救われている。大

学生生活(特に勉強に関して)の中心はゼミ活動で、その集大成は卒論であると自分自身考えているので、その点、ひとつでも熱中出来るものが見つかって良かったと思っている。

学生生活において、部活動も大きな位置を占めている。書道部(学術文化部)は大変厳しく、本当に色んなことを考えさせられるし、心身共に(う)鍛えられていることを実感している。ただ、今は、通学↓学部↓部活動↓帰宅という繰り返しの毎日なので、ある意味、自分の視野が狭くなっているのではないかと不安になる時もある。「みんな(いわゆる)フツウの大学生」はどのような生活をしているのだろうか。

いずれにせよ、私は比較的真面目に学生生活を送っている方であろう。これからは、心にゆとりを持って、時間を見つけて一杯遊びたい(遊びというか、色んなことにチャレンジしたい)、勉強したいし、恋愛もしたい。私の人生において、大学生活の四年間は、二度は送れないのだから。





## 『輝く時』

輝くとき

一年 吉川 潔

輝くときつて何。と考えたのですが、私の目が輝くときかな  
ということだ、

梨を剥いているとき

何人かは知っているとありますが、私はかなりの梨好きです。  
梨を剥いているときに幸せを感じます。家族にも、「あんた梨  
を食べるとき本当においしそうに食べるね。」と言われます。  
今年ひとり暮らしにもかかわらず、3日に1個ペースで食べて  
しまいました。そのため食費は2000円アップ。これからも  
わかるように私にとって梨を食べることは年間行事の一つです。  
私の梨に対する一年の心理変化を表してみると、

春、梨が待ち遠しくなり

夏、梨が恋しくなり

秋、梨を食べると幸せを感じ

冬、梨を食べ過ぎて食べたくなくなる

こうなります。

これだけ梨好きの私は、梨にはかなりうるさいです。梨をむ  
いて口に入れたとき、おいしくなかったらかなりがっかりしま  
す。本当においしくなかったときその梨は食べません。(0田

先輩に、贅沢。世界には飢えた子供たちが……。と言われそ  
うですが、そして、また違う梨をむくのです。

小さい頃から冷蔵庫に梨を見つけては、自分で梨をむいて食  
べていた私は、梨をむくのはかなりうまくなりました。

好きこそものの上手なれ。とはよく言ったものですね。

鳥取出身のm好先輩、いつでも梨を待っています。

私が輝くであろう、その時

二年 松尾高嗣

「理系の者は、未来を創ることが出来る。素晴らしいとは思  
わないか？」予備校時代に先生から言われた言葉である。この  
言葉は、将来というものを真剣に考え、悩んでいた私の心に一  
条の光を差し込んだ。そして、私は決心した。地球環境を守る  
為に、そしてこれから生まれてくる子供達の為に、全てを投げ  
打って未来を創っていこうと。そして、それを実現したそんな  
私の功績を称え、ある番組(プロジェクトX:一部伏せ字)で  
特集が組まれるだろう。その日のために私が書き下ろした番組  
のオープニングナレーションを記そうと思う。

「化石燃料。それは十八世紀から二十世紀にかけて世界のエ  
ネルギ―の中心であった。しかし、人口の増加、そして生活水  
準の向上によるエネルギー消費量の急激な増加によって、化石  
資源は底を尽き始め、人々は本格的な新エネルギーへの変換を

急務としていた。人類皆が口をそろえて地球の環境を守れと叫んだ。各国では、新エネルギー開発に全力をあげて取り組み始め、そして先進国は京都議定書と呼ばれるCO2削減を掲げた議定書に署名した。だが、現実はその簡単なものではなかった。

世界一CO2を排出しているアメリカが無理だ、国益にならないと音上げ事実上の離脱を表明し、そして我が日本でもCO2が削減するどころか年々排出量は増えていった。そんな時代に生を受けた男がいた。男の名前は松尾高嗣。彼は何の変哲のない予備校生だった。だがそこで彼が出会った予備校教師の言葉が彼を変えた。そして彼は決意した。私がこの手で地球を救おうと。彼は大学に通いそして大学院を経て、某一流会社の研究所に勤務する。そして新エネルギー開発のプロジェクトリーダーとなり、メンバー三十人を率いて研究に励んだ。だが、幾多の苦難がプロジェクトチームに降りかかってくる。長引く不況、そしてリストラ。プロジェクトメンバーが一人、そしてまた一人と消えてゆく。メンバーからも諦めの声が聞こえ始める。そこで彼を救ったのが、妻や息子達の愛、そして世界中の子供達の笑顔であった。これは、地球の環境の為、そして人類の未来の為に立ち上がる一人の壮絶なヒーモンドラマである」

そしてオープニングが始まる。(オープニングテーマには中島美○の「地○の星」が流れている)これこそが私の夢であり、そして、このようなテレビ番組が放送された時、その時こそが私の輝く時なのである。

## 輝く時

三年 川原 敦志

『輝く時』と言うのは、一体どのような時を『輝いている』というのだろうか。私は今まで、考えた事もなかった。しかし、最近、シドニーオリンピックが行われ、メダルを獲得した選手達が、喜びながらその後のインタビューに答えていたのをテレビで見たと。その時の表情は、「一生懸命、力を出し切った」という気持ちが進められているようだった。私は、この「一生懸命、力を出し切った」姿こそが『輝く時』と言えるのではないかと思った。

自分の中で、過去に何か一生懸命打ち込んだ事があったかどうかと悩み、中学の時に、一度だけ卓球の試合(といっても地区大会だが)に選手として出場した事があるのを思い出した。その時は、私はダブルスの選手として出ることになっていたが、ダブルスの経験は全くなく、ペアを組む事になった人とも息が合わず、普段の練習でもミスを連発していたので、「こんな調子では、一勝もできないだろうな」と不安を感じるまま試合に望む事となった。

だが、そんな不安を抱えていたが、何と全試合勝ってしまったのである。総合では、準決勝まで進んだが、敗れてしまい三位の成績で終わった。

試合後に、「練習の時よりも、構える姿が違っていた。」

「全試合勝てたのもそのせいだと思う。よく頑張った。」と言われた。その時、自分では違っていたと思わなかったが、周りからそのような言われ、喜びを隠しきれなかった。

今、その当時の事を思い返してみると、正に、この時の姿が私にとって『輝く時』と言えるのではないかと思う。

馬鹿になれ

梶木 和孝

馬鹿になれ

とことん馬鹿になれ

恥をかけ

とことん恥をかけ

かいてかいて恥かいて

裸になったら見えてくる

本当の自分が見えてくる

本当の自分も笑ってた

それくらい

馬鹿になれ

これは僕の師のアントニオ猪木の詩です。  
なかなかいい詩だと僕は思います。

この詩の他にサンタモニカの朝という詩があるんですけどそれも最高です。

確かに馬鹿になると自分が楽になると思いますが、でも、自分から馬鹿になるのは難しいことだと思えます。周りの人を盛り上げるために

馬鹿になる。そういう人達を何人も見てきました。私はそういう人達を尊敬します。

人の為に自分を殺す。偽善者かもしれないけど、そういう人間がすきです。

人生苦あり

3年 太田 真文

最近、「人生苦あり」と思う日々が続いています。私は福岡学生書道連盟代表や人生のかかった就職活動が続けているが、なかなかうまくいかないのが本音である。ここまで頭を悩ましたのは初めてだ。就職もある意味で「恋愛」であると思っただ。高校、大学とスイスイと入り、あまりそこまで苦労はなかった。人間いつかは人生の中で最大の苦労を味わうこと大事ではないかと思った。そうでなければ己の精神的（強さや弱さ）なものを発見できないからだ。それを初めて知ること

である意味で精神的に強くなる。今後の人生はどうなるかわからないが、前に前に進むだけだ。決して後戻りは出来ない。そんな悩んでいる同輩へ……。

欲しい、全部欲しい、何でも差し出そう。

悪魔が囁いているなら。

連れて行って欲しい。そんな良い場所があるなら。

そして、開放され、楽になりたい。その手をとって！

(川原ツバメ詩集より)

いかがでしょうか？久しぶりに「川原ツバメ詩集」から一句お借りしました。なかなか味があると思いませんか？？私は同輩で、同じ企画の仕事をしていた川原君を尊敬し、また良きライバルと思っています。これからも彼との交流は続けていきたいと思っていますし、人生そのものに関わりたいと思う。だからこれからも太田真文を宜しくお願い致します。就職が決まったら必ず飲みに行こうな！！



## 『私の自慢話』

懸賞生活

1年 永山 義弘

みなさんは、懸賞で何か当てた事がありますか？テレホンカードや商品券などを当てた人はたくさんいると思いますが、私はなんと「ノートパソコン」を当てた事があります。ノートパソコンを当てた人はそういないと思います。

以前「電波少年」という番組で「なすび」という人が懸賞生活をしていました。はっきりいってあの番組はヤラセだと思っ  
てました。いくらなんでも毎週当たるのはおかしいと思った  
からです。しかし、それは間違いでした。だって自分にも当たっ  
たのだから……。

当たった日の事は今でも覚えています。学校が終わって家に  
帰ると、机の上に大きな箱が置いてありました。こんな所にゴ  
ミを置くなと思ったら、それがノートパソコンでした。それだ  
けでした。実際、当たってみると案外あっけないものでした。  
別にすごく感動したわけでもないし……。

とはいっても、そのノートパソコンは今でも大事に使われて  
います。まだ回線をつないでないのでゲーム中心だけど……。  
最後にノートパソコンをくれた某週刊誌よ、ありがとう。

完

## 私の自慢話

1年 宮本 朋子

私には、これといって自慢できることはありません。だからここでは故郷熊本（紹介）をさせて頂きたいと思えます。熊本には、イイ所、オイシイ物がたくさんあります。イイ所の一つ目は、皆さんもご存知の阿蘇です。私は、春の阿蘇が印象的です。野焼きをご存知でしょうか？新芽がスクスクと育つための欠かせない行事です。一度そのすぐ側を通り過ぎたことがあります。こつちが燃えそうでした。いや溶けそうでした。皆さんも一度体験されてください。それからもう一つ私お勧めのイイ所は、菊池溪谷です。ここも春にしか行ったことがありません。まだ気温も低く寒いくらいだったのに、私は泳ぐつもりでした。バカです。足首までで5秒と入っていられません。でも、水はとても綺麗でした。今度は秋の紅葉を見に行ってみたいと思います。

えー、さて、オイシイ物の紹介に移りましょう。熊本といえ、メロン、すいかが思い浮かぶことでしょう。それとも陣太鼓かな？私は敢えて違う物をお教えいたしましょう。何だと思えますか。それはいきなりだんごです。どんな物かというところ。まあ一度御賞味あれ！とにかくいいですから。それからデコポン。キヨミとネーブルか何かの掛け合わせです。それからそれから八代名物く挽白柚。美味しいのは確かですが、食べたことのない人の中には、「皮ばっかで食べる」と

こないじゃん。」とそのまま放っておく人がいるそうです。もつたいない！もつと深く手を突っ込んでみりゃいいのに、と思えますが、知らない人にとっては、あの皮の厚さは驚異の様です。機会があれば、ごちそういたしましょう。（機会があればです。）ということ、短いですが、私のお話は、

お・し・ま・い

## 私の自慢話

二年 玉川 美穂

このテーマをいただいて、何を書こうか色々悩みました。自分自身の事を書きたかったので、ここに書ける程のものが思い浮かばず、最近我が家を新築したので、その事について少し書いてみようと思います。

まず、綺麗に住み心地がよいというのは当たり前なので、他に私が自慢できる所を、幾つかあげてみます。

○洋間―一見、そこまで広くもなく、極普通の部屋です。では、なぜ洋間なのかというと、この部屋には私の書道道具入れ専用を作ってもらった収納があります。ただ、道具の数に練習量が伴っておらず、うまく活用できていないのが現状ですが・・・

ある時、父親が、この部屋は私が習字の先生になれた時に、教室として使ってよいと言いついたのですが、父は私が何十年後、近所の子ども達に教えるオバサン先生をしながら、老後の面倒を見てほしいと思っているのか（勿論見るつもりですが・・・）と考えこんでしまいました。

○作業場—この部屋は父の為に作ったものです。父は、ものを作る事が趣味なのですが、何か作業をする時は、カンカンドンとにかくうるさい。周りはおかまいなしで、前の家では、リビングにまで道具を持ち出してやる始末でした。これでは家族もたまらない、と作業場を作ったのです。

最近では、どこからか木材を調達してきて、一階にベランダを作り直した。(日曜の朝は、毎回これで起こされました。)

○庭—建てかえる前は庭も広く、大きな栗の木や、柿の木もあり、木々で囲まれたような家でした。新築して、家を広くした分、狭い庭にはなりませんが、木のテーブルとイスを置き、バーベキューができるので、結構気に入っています。

また、父はガーデニングにもはまっていて、それ専用の道具も購入しました。そのせいで、玄関はプランターの花でいっぱいです。

以上の他に、私が気に入っているのは二階の窓で、ここからは花火大会の打ち上げ花火がきれいに見えます。

私自身、本当に広くもなく、狭くもない(?)この普通の家に満足しています。「自慢話」というより、「自満話」のようになっています。

最後に、書道に関して、自分自身自慢するものができるよう、頑張りたいものです。



生まれ変わったら何になるか

川原敦志

昔、生まれ変わったら、鳥になりたいという、今となっては幼稚なことをおもったことがある。鳥の種類でいえば、ツバメである。

なぜそうおもったのかと言えば、当時、ツバメ専用の巣箱があり、そこに毎年ツバメがやってきて、ヒナを育てていた。生長したヒナは親のもとを離れ飛びさっていくが、また一年後には、そのヒナがその巣箱に入り、ヒナを育てるということを繰り返していたのだ。そういうところに感動して、ツバメになってみたいと思ったのである。

毎朝、起きてはツバメの事が気になっていた。ので、巣箱を見にいっていた。そこではヒナがピーピー鳴いており、親ツバメはヒナのために、餌を探してはヒナに食べさせていた。その情景を見ると、心が本当に気持ちよくなっていた。(あの頃はよかつたなあ)

最後に、そのツバメに川原ツバメというちよつと変な名前をつけた。

# 『幸せ』

幸せ

1年 福留 千鶴

私の好きなもの、好きなことは数えあげると際限ないですが、いざ幸せといわれると結構ありそうでないものです。そもそも幸せとは何なのでしょう？ 国語辞典によると「これ以上望むものがなく、十分に満足していられる状態」とあります。そんな経験私にあるかあ？ と、無い頭を絞りに絞ってやっとな出てきました。これからそのお話をします。

コンサートです。コンサートに行つて我を忘れて楽しむことです。もう帰るときには今までたまつたストレスや鬱憤が浄化されて、キラキラのお目めとピカピカの心で家路に着くことが出来、そしてまた明日からの活力が湧いてくるのです。私は、THE YELLOW MONKEYの大ファンで福岡に来た時は必ず行きます。そして、少しでも良い席がとれるように頑張つて電話予約もします。この時が一番の勝負どころなので緊張します。コンサート会場に着くと今度はグッズを買つてしまします。何かついその場の雰囲気飲まれてしまつて、いかにも名前だけで売っているどうでもいいようなものをかかつてしまふんです。一番ひどかったのは、一セントコインペンダント（ロゴ入り）を三五〇〇円で買ったことです。一セントは日本で一円位の価値しかないらしく、それ自体も千円前後で作れるそうです。家に帰つて、「戦利品」とか言つて兄に自慢するのですが、兄のキツイコメントでいつも現実引き戻され、心の中にすさまじい風が吹くのです。でも、兄も私によく似て単純だから同じようなことをやってはいるんですけどね。（私ほどじゃないけど

）今度一緒にコンサート行きませんか？ 絶対楽しめますよ。わかるかな、この満足感、わかんないだろうなあ。

そしてもう一つの私の幸せ。それは、マフラーやコートなどの防寒具を身につけて外出する時ですね。でも、私は冬は嫌いです。十二月から一月半ばまでは、まだ大丈夫なのですが、二月になるともうダメです。手先足先が冷えていくくらいたためても温かくならないのです。でも、手の冷たい人は心が温かいといえますね。きっとそれは私のことをいつてくれているのでしよう。（却下しないで下さい）

ちなみに、私は八月十六日という夏生まれで、好きな季節は秋です。こんな私のご批評をどうぞ宜しくお願いいたします。



幸せ

2年 神山 まい

十月十六日

「幸福者の離島」に住むことができる哲学者。

「よい生活ができるのに、わるい生活をさせる」

「よき政治の行われる国においてのみ、真の富者が支配するであろう。それは黄金に富む者のことではなくて、幸福者がそれに富まねばならぬところのもの、すなわち思慮ある、よき生活に富む者を言うのである。これに反して、自己自身に何らのよきものをも有さぬ乞食のような者が、公共の仕事赴き、これを掠奪の場所のごとくに考えて、そこから自分欠けているよきものを取らねばならぬとするならば、よき政治をそこに望むことはできない」(プラトン『理想国』より)

プラトンは、哲学者が現実において最高の指導者でなければならず、このことが政治の原理となるべきと考えました。つまり、哲学者が政治の支配者になるのはやむを得ない義務なのです。彼は、人間を生まれながらの洞窟の囚人と位置付けました。そして、学問を得た哲学者だけが日洞窟から地上へと抜け出してきます。しかし、自分も洞窟の中で育ったこと、さらに祖国への義務ゆえに、同胞と苦しみ、彼らと共に生きていこうとします。

今の政治の支配者達はどうでしょう。少なくとも、洞窟の囚人達を導いてはいないような気がします。終わりに彼はこうも言っています。「義務として王となる哲学者は、三十五歳まで教育を受け、一五年間政治の実務をこなし、五十歳から順番が来たら、哲学者として支配につく。」

十月二十日

幸せと不幸せがあるなら、それは幸せが良いに決まっています。しかし、どんな状態が幸せなのか、わたしは今幸せなのか、自分のことながらよく分かっていません。いろんな幸せがあるの

でしょうが、こんな事を考えられるのもわたしが幸せであるからこそなのかもしれません。

十月二十四日

幸せと嬉しいというのは、似ているのでしょうか。全く同じではなくとも、両者は深く繋がっているように思います。二ヶ月程前、二人の友人が誕生日を祝ってくれたことは、たいへん嬉しく思いました。

十月二十九日

メーテルリンクの『青い鳥』。チルチルとミチルの兄妹が幸せの青い鳥を求めて、冒険する物語です。

わたしも青い鳥を一、二羽求めたい気分です。ちなみに、『青い鳥』の続編として、『チルチルの青春』があります。『青い鳥』とは違ったイメージのチルチルだったような気がします。

幸せになる方法

2年 藤本 寛子

お題があまりに漠然としすぎているのに困り、苦悩した挙句、文明の利器「インターネット」に頼り、幸せで検索したら、幸せになる方法が書いてあるサイトにたどり着いたので、パクリすることにしました。それによると、

おすすめの幸せになる方法「ハオハオ」

「ハオハオ」は、物事が起こった時に、いやな感情を抑える



ための方法です。「ハオハオ」と心の中で言うことによって、怒りや悔しさ嫉妬のような感情を起こしにくくなれます。

私たちは、ともするとすぐに忘れてしまうような小さなことで気分を悪くして、幸せに過ごせない場合があります。

・「ハオハオ」の意味

「ハオハオ（好好の中国読み）」は、「うんうん」や「よしよし」のようなニュアンスで、次の3つの意味で使います。

1 現実を受け入れる

事実は事実、存在するものとして認めることです。現実を認めなかったり逆らったりすると、心の中に抵抗が起きます。するとイヤな感情が大きくなります。どんなことがあってもそれが良いか悪いか、幸せか不幸かはまた別のことです。別のことで対処します。とにかく現実を受け入れることができれば、必要以上に感情を乱さずにすみませす。

2 自分の感情を受け入れる

自分が感じたこと、考えたこと、それによって生じた身体の症状などを受け入れることです。そのことで自分が悲しかったり、悔しかったりしてもそれはしょうがないのです。自分が否定的な考えをしているのに気づいても今はそれでいいのです。顔が赤くなっても涙が出てきてもそれは自然なことです。自分の心を受け入れることができれば、悪い感情に流されたり爆発しないですみませす。

3 幸せを発想する

次のように発想することです。「この事にも良いところがあ

る」「何か学ぶ事がある」「いい事をはじめるときっかけになる」など。また、本当にいいことがあった時にも、「ハオハオ」と言っていればすぐに気づけて、幸せを感じることが出来ます。

っと、まあこんな風に書いてありました。どうでしょうか？私といえば、これを読んでなるほどと思った反面、そんなに簡単に割り切れていたら苦労してないと思つたもんですが……。思うに、自分にとって何が幸せなのかをきちんと考えてなにかあってもそれを見失わなければちゃんと幸せになれるんだと、私はそう思いました。皆さんにとって幸せってなんですか？

幸せな時

3年 松下 健太郎

32

イギリスの哲学者ベンサムが唱えた「功利の原理」によれば、幸せ、即ち幸福は我々が味わうことができる快樂と同義であり、幸福を量として捉えることにより、近代以前の神による決定ではなくて、快樂計算という測定法によって我々が「何が善・正・幸 good であるか」、ということを決定可能であるとされています。

さて、僕が幸せ（気持ちよく、楽しい）と感じることのひとつに「好きな音楽を聴いている時」、というのが挙げられます。

部員の皆様には「ドーセ松下さんアイドル系の曲ばかり聴いてるんでしょ」、って思われているかもしれませんが、しかしながら、僕は六〇枚くらいCD持つてるわけですが、ほとんどクラシックなのです。（流行曲はレンタルで済ませます）

今、一番好きなのはJ・Sバッハで、初めてピアノ協奏曲第6番の第3楽章(ブランデンブルグ協奏曲からの編曲)とか、シヤコンヌ(無伴奏パルティータ第二番第五楽章)のピアノバージョンを聴いた時は、涙が出てきたくらいです。もちろん、モーツァルトやショパンなんかも聴きますが、基本的にはバロック系が好きですね。

バッハといえ、グレン・グールドのゴルトベルク変奏曲が超有名なわけですが、僕は初期の方のコントラストが効いた鋭い演奏が好きですね。最初に優雅なアリアの伴奏を務めた低音部がその後主役になって三〇の変奏を引き出して、背後の数学的構成に気づかせないくらいの生気を発散していく……もう、素晴らしいです！あとカンタータ、コラールなら、「Boys Air Choir」っていうイギリスの聖歌隊のトップ・ソリストを集めたグループがあるんですが、あの透明感は最高です。

クラシックは演奏者によって、同じ曲でも受ける印象が全然変わってくるので、聴き比べてみるのも楽しいですね。

これを読んでもし、クラシックに興味を持ってくれた人がいたら嬉しいです。あっ！そういえば僕のおば様ピアニストなんです。原田英代さん。応援よろしくお願いします。



## 『家族』

私の「家族」

一年 桑野 愛子

そもそも、ペットというものは、「家族」といえるのでしょうか。勿論、戸籍などの正式なものについては、家族には入りません。しかし、「うちの犬は家族の一員です。」といった言葉を、皆さんも耳にされたことがあるでしょう。

私の家にも、一匹犬がいました。名前はあえてこの場では申しません。一応「彼」ということにおきましょう。彼の父親はマルチーズで、母親はプードルでした。だから、顔が混ざっているのです。もう少し詳しく言うと、耳と目はマルチーズなのですが、鼻と口はプードルなのです。こんなことはどうでもいとして、ともかく彼は、「雑種犬」でした。良く言えば、世界で一匹しかない犬です。

「犬は買主によく似る」とよく耳にしますが、彼は家族の誰にも似ませんでした。しかし、子犬の頃は、ある人に似ていました。タレントの研ナオコさんです。当時、近所のおばさんから「あつ、この犬、研ナオコに似とう！」と言われたそうです。

しかし、私は実際に子犬の顔を見たことはありません。実は、彼は私より年上なのです。私が生まれた時、彼は既に四歳でした。人間の歳で言えば、三十過ぎというところです。私が生後間もない時、彼はいつも私の寝ているそばにいて、知らない人が近づくと、唸り声を上げていたそうです。私が少し大きくなると、よい(?)遊び相手となりました。2人(一人と一匹)は、好物が同じ砂すりだったので、よくとりあいをしていたそうです。勝つのはいつも私でした。(…)

しかし、彼はあまり私の言うことをきいてくれませんでした。自分が年上だから、だと思っていたからでしょうか。その上に、私が抱くの嫌がるのです。抱くことを許してくれたのは、大分歳をとってからでした。それからは病気がちになりましたが、結局、十四歳まで長生きをしました。

彼がいなくなつてから、何だか毎日の生活が少しつまらなくなつたような気がします。別に、それからの生活が最悪だったというわけではないのですが。時々犬を見かけるたびに、彼がいたら、毎日がどんなに楽しいだろう、と思います。

要するに、彼は私の「兄弟」とも言える存在であり、家族の一員でありました。

## 私の家族

2年 岡田 貴子

我が家の家族構成は父・母・兄・私で、平凡な四人家族です。ここでは、そのうちの父と母に関する最近のエピソードを書きたいと思います。

まず家の父なのですが、父は町役場の職員をしていて今年環境共生課なる課に移動になりました。すると、いきなり父はソーラーシステムの自家発電機を買うと言いつたのです。驚いた母と私で話しを聞いてみると、今買うと、政府から援助金が出るし、住民に普及させるためには、まず担当者である自分が買わないといけない。それに余った電気は電力会社に売ることが出来るんだし、とかなんとか……。しかし、私達としては援助金がどうも百万以上かかる事ですから、ハイそうですねとは言えません。それに、新製品を売り出す時は大抵良い面が強調され、実際使ってみると思わぬ欠点が出てくるというのがパターンです。だから私は、今は学費もあるしもう少し様子を

見た方がいいと、思い留まらせようと思つて言うと、他人の後ろをついてく人間は大物にはなれないんだと説教されました。まあ、これは値段が値段なので諦めてくれたのですが、今度は夏休み、生ごみを肥料にする機械を買うと言いつたのです。再び私は母とタッグを組み、家には畑も無いし何万も出して買う必要はないといつて止めました。

そして、夏休みも終わり福岡に戻っていた私に、母から一本の電話が掛かってきました。そして、一言「うちに生ごみ処理機が来たよ……」

そして現在、これからも我が家に環境グッズが増えるのかしらと心配しつつ、町長に早く父を他の課に移してくれと切に願っている母と私なのでした……。

次に母がボーリングに行った時の事です。友人四人と行ったのですが、ゲーム前にスコアに名前を入力しますよね、その時一人が、松嶋奈々子と入力したらしいのです。すると母は、負けじとなんとエリザベス（母は四人姉妹の三番目なので若草物語三女の名前より）、もう一人は、ふーじこちゃんとうりしたのです。

悲劇はお勘定の時に起こりました。母達は、一人がまとめ済ませればいいと思ひ、一人だけは本名にしていたのですが、一人一人名前を言つてスコアをもらわなければいけなかつたのです……。よつて、母は、大爆笑の店員さんに向かつて、

「エリザベス……」

と言つて受け取り、あんまり店員が笑うので、

「見える？」

と聞いたら余計笑われ、出口から振り返つた時も店員は、笑つていたそうです。それはそうですね……。

これが我が家族の最近のエピソードであります。最後に、私にとって、二人は本当に一緒にいて楽しい両親で、かけがえのない家族です（もちろん兄も）。これからもこのままでいて欲しいものです・・。

### 妹の出生について

三年 亀山 知美

家族の事を書いてくれと言われましたが、とりたてて書くことも無いので妹の出生について書こうと思います。

私の妹は未熟児でした。両手ですくえる程の小ささだったそうです。母が退院した後も生まれた妹は、まだ帰って来れず父や母が子ども病院に妹に会いに行った時は白衣を着せられ消毒みたいな事をさせられたと言います。妹は十月に生まれる予定だったのに六月に生まれてしまった為、病院の保育器の中に何か月も居ました。しかも母乳を自分で飲むことが出来ないので凍らした母乳を鼻の穴から管で入れていました。その凍らした母乳を入れる袋みたいなのが、そのへんの薬局には売ってなくて、当時私は天神に住んでいたのですが、唯一それを売っていた南区の薬局まで度々父とバイクで買いに行った事は今でも覚えていています。

お医者さんからは妹は障害を持って生まれるだろうと言われていました。父と母は覚悟して欲しいと言われたそうです。二

人共、自分達はちゃんと育てられるか、とても不安で毎日毎日悩んでいたそうです。でも妹は元気に生まれました。お医者さんは奇跡だと言いビックリしていたそうです。

母の入院は普通の出産の時より長く、その間、小さい弟は親戚の家に預けられていたのですが母が帰って来た時、弟は母の事を忘れていました。母は、それはそれはショックだったそうです。そんな妹も、もう女子高生です。



年間行事

ねんかんぎょうじ



## 春季合宿

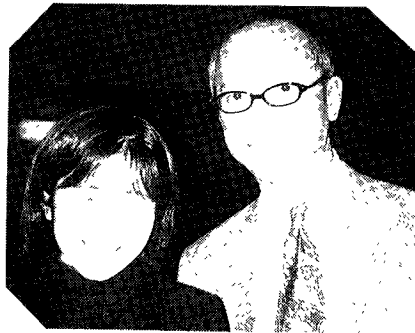
三年 太田 真文

今回の春季合宿は北山少年自然の家で三泊四日行いました。内容は書き込みと討論を中心に行いました。討論は「新入生を迎えるにあたって」というテーマで話を進めていき、書の面は連盟展の書き込みを中心に練習しました。

今回の合宿は、主に討論に力を入れ、新学年に上がるにあたっての意識をつけてもらうという目的の為に力をいれ、様々な成果が得られました。真剣に討論を交わしていく中で部員の表情がかわっていくのがわかりました。昨年よりも何かかわるものがあり、頼もしいものを感じました。何故なら今回は最上級生である四年生がいらないという事もあり余計に意識が高まったと思います。これから新しい一年生を迎え、共に頑張っていくという姿勢が頼もしかったと思います。人数も少なかったので内容が濃いのもになりました。

書き込みについては、連盟展意識して行いました。新たな法帖に取り組む姿勢がみられたり、様々な書体に挑戦しようというものがありました。そして、色々な困難にぶつかった時に講師の大原先生の熱心なご指導を頂きました。また、普段の環境とは違う練習がで出来たのでとても充実した練習内容でした。個人差はありますが、書技向上が実感出来たのではないかと思います。

春季合宿は色々な意味で一年間のスタート地点であると考えられています。そのスタートラインで今回は様々な成果をえて、次につながるものがありました。新入生が入部してもこれなら大丈夫と思えました。それと同時に部員全員に「やる気」が湧いてきたと思います。



## 新入生歓迎会

一年 吉川 潔

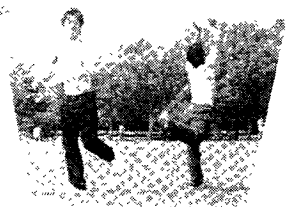
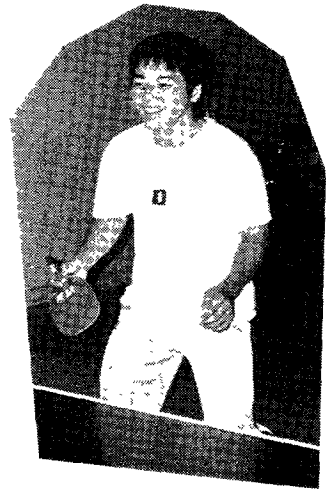
球技大会の次の週でした。みんな疲れの残る中、新入生歓迎会に望んだのですが、私は、馬鹿というか単純というか、まるで遠足に行く小学生のように、かなりやる気でした。おそらく一番この日を楽しんでいたのは私です。そう、あの森君よりも。今では、あんなに部になじんでいる森君、永山君、平尾さんは、この日はまだ書道部に入って1週間もたっておらず、あの森君もクールに見えたものでした。まあ、そのあといつも考え込んでいるような顔がへらへら笑い顔に変わることになったのですが。みんな知ってのとおりです。

当日の話ですが、まず、トーナメント形式で卓球が行われました。卓球が始まり、Iげき先輩とO田先輩に始めて逢った日のことを思い出しました。「俺が入ったのは学術文化部会書道部だったよな?」と。そして、私はすぐに負けてしまいました。結果は川原先輩が優勝、森君が準優勝でした。

そのあと昼食。外で弁当を広げて食べることになっていたのですが、あいにくの雨。A棟で雨宿りしながら食べました。

午後はレクリエーション。たしかこの日のMVPの証、「今日の主役」たすきをもらったのは、じゃんけんの後でみんなの頭をたたいて回った前田君でした。あれを見てMVPにならなくてよかったと、思ったものです。

飲み会は、つぶれる人もいなくて無事に終わりました。楽しい1日でした。



## 夏季合宿

三年 川原 敦志

今年の夏季合宿は、テーマ「成」のもと、熊本県立天草青年の家で行われた。

「成」とは、「成長」「成功」というような言葉を表しており、部員一人一人が、書技面あるいは精神面において「成長」し、そこから合宿全体において達成感・充実感を感じ、「成功」に結び付けてほしい、という意味を含めている。

この合宿では、主に練習中心だが、部員同士の親睦を深めるために、レクリエーションなども行っている。

まず練習は、一日七〜九時間と、疲れを感じさせるとは練習時間だったが、皆疲れた表情を全く出さず、作品を作る事に没頭していた。そのせいか、一回生全員が目覚ましい成長を遂げていたのには驚きを感じた。また、日がたつごとに、自ら進んで上級生にアドバイスを聞きにくるといふ積極性や、一回生同士で考え共に行動していく協力的などが、次第に身につけてきているように思えた。

次にレクリエーションの方では、茶話会の他に花火も行った。

しかし花火では、一度に何本もつけすぎた為に煙がモウモウと立ち込めてしまい、少し咳きこんでしまう事もあったが、皆それほど気にしている様子もなく、大いに楽しんでいたので安心した。自分を含め、皆いい思い出になったと思う。

今年は、四回生の先輩がおらず、自分ら三回生が最上級生として行動していかねばならなかったが、この合宿を通して、一回生や二回生から学ばされる事もたくさんあり、まだまだ未熟であると実感させられた。

それで、この合宿で学んだこと、経験した事をこれからの活動につなげ、部をより一層発展させてほしいものである。





ななフェス2000

二回生 山手 麻美

実は、あたしが「あげパン」の仕掛け人だったのです。知ってました？小学校の時、給食で出されていたあの味が忘れられず……。あたしたちが出したもののよりはパンも固く、そんなに油は吸ってなかったと思います。月に一回、リクエストメニューの日には必ずと言っていいほど、それが出てきました。みんな大好きだったのです。来年も食べたい。

(以上、バザーのはなしでした)

展示発表をいろいろ見てまわりましたのですが、なかなか無理でした。印象に残ったのは書道展があつた女子ラウンジのとなりのとなりのお香くさい(くさいというのは失礼だな)部屋です。面白い人がいました。面白い人大好きです。面白いというか、あたしは、一風変わった人に興味をそそられる傾向があります。お香はあたしも好きです。京都で買った『禅』がお気に入りです。普通のお仏壇にあるお香の香りもいいです。だから、お寺は結構好きですね。

(以上、お香のはなしでした)

まあ、いろいろと出会いもあった訳です。となりのうどん屋さんにはお世話になったし、お世話もしました。ななフェスで微妙に知り合いになったとしても、ななフェスが終わって普段の生活に戻って、構内で会ったとしても、別にもう何もないですよ？でも、となりのうどん屋さんの人とは、

今でもあいさつを交わしてるんです。

(以上、出会いのはなしでした)

あつという間の4日間でした。売上も10万近くいったからめでたい。場所も、A棟前ということで、なかなか趣深い感じだったと思います。落ち着いてました。お祭り広場のにぎやかさもまた、いいのですが、あたしはA棟前、かなり気に入りました。医学展にも近かったし？

(以上、ななフェスの総括でした)



福岡大学書道部創立四十周年記念展・祝賀会

三年 三好 幸弘

展示会

日時 平成十二年十二月十二日から十七日

場所 福岡市美術館

祝賀会

日時 平成十二年十二月十六日

場所 福岡大学文系センタースカイラウンジ

平成十二年十二月十二日から十七日まで福岡市美術館におきまして展示会十六日には、福岡大学文系センタースカイラウンジにおきまして祝賀会を行いました。

展示会では寒い時季にもかかわらず多数の方が見えましました。私たちは、この日のために強化練習・合宿を行いました。私たちは、この日のために強化練習・合宿を行いました。臨みました。その成果はみんなに十分に出ていました。また会場では、オリジナルのビデオを放映しました。

祝賀会はOBの方々の懐かしの再会に言葉絶えることなく盛況のうちに終わりました。また今回来られなかった先輩からビデオレターをいただき放映しました。

この行事を最後に僕たちの長いようで短い役員生活は終わりました。二年間いろいろな行事を作ってきましたがこの行事が一番思い出に残っています。最後にみんなに一言ずつ

副幹事の槻木君いろいろありがとう

会計の亀山さんお疲れっ

企画の太田・川原君これからもよろしく

庶務の松下君がんばれ

次の役員さんへ つらいことも多いと思いますが結構楽しいですよ。僕らに負けない行事を作ってください。期待しています。

一回生へ 書道部でいろんなことを吸収してよい先輩になってください。

次入ってくる新入生へ 書道部で一緒にがんばろう

最後になりましたがこの行事を行うにあたり多大なる御尽力賜りました森田国昭先輩をはじめ諸先輩方々、関係者各位に厚く御礼申し上げます。



福岡大学学術文化部会書道部

規約

第一章 名称及び目的

第一条 本部は福岡大学学術文化部会書道部と称し、本学学生による書道愛好者の団体である。

第二条 本部は部員相互の親睦融和を図り、人間形成をめざすと共に書道文化の普及、書技の向上を目的とする。

第三条 本部は前条目的を達成するために次の事業を行う。

- 一、書道に関する事業
- 一、書道に関する調査並びに機関誌などの刊行
- 一、関係団体との親睦並びに連絡提携
- 一、各種展示会出品
- 一、その他前条目的達成のため必要と認めた事業

第二章 組織

第四条 本部は講師及び部長を各一名置く。

第五条 本部は幹事、副幹事、会計、企画、庶務、渉外、その他必要とする役職を置き、本部を代表する。

第六条 本部は次の機関を置く。

- 一、役員会
- 一、部員総会
- 一、OB会、但しOB会規約は別に定める。

第三章 役員会

第七条 役員会とは、部の円滑なる運営を期するための機関である。

第八条 本会は原則として、第五条に基づく役員によって構成される。但し、第五条に基づく役員以外であっても幹事が認められた場合には、本会に出席することが出来るが議決権はないものとする。

第九条 本会は幹事によって召集され代表される。

第十条 本会は毎月一回開くことを原則とする。

第十一条 本会の議決は部員総会の決定を妨げるものではない。

第四章 部員総会

第十二条 本会は本部の最高議決機関である。

第十三条 本会は本部の部員によりこれを構成する。

第十四条 本会は必要に応じこれを開き、幹事がこれを兼務する。

第十五条 本会の議長は原則として、幹事がこれを兼任する。

第十六条

一、本会は部員の過半数をもって成立する。

一、本会の議決は出席者の過半数の賛成を必要とし、可否同数の場合、幹事がこれを決定する。但し、出席者の過半数の賛成で重要事項とし、その決定には出席者の三部の二以上の賛成を必要とする。

第十七条 本会不成立の際、出席者の三分の二以上の賛成をもって仮議決することが出来る。但し、

一、仮議決については事後部員総会において過半数の承認を必要とする。

一、重要事項は仮議決することが出来ない。

## 第五章 役員

第十八条 役員構成は第五条に同じ。

第十九条 第三条に基づき、外部関係諸団体へ役員を派遣することが出来る。

第二十条 幹事は本部を代表し、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその職務を代行する。

第二十一条 本部の役員改選は選挙制にし、これを重要事項と認め部員の無記名投票による選挙を行う。但し、委任状は認めるが、委任の方法は年度によって異なっても良いものとする。

第二十二条 本部の役員の任期は四月一日より翌年三月三十一日までとする。但し役員改選後、翌年三月三十一日まででは代行期間とし、その責任は新旧両役員の連帯責任とする。尚、欠員が生じた場合これを補充する。

第二十三条 役員改選は原則として十月に行う。

## 第六章 役員の職務

第二十四条 役員の職務は次の通りである。

一、幹事は部務を処理し、部を統括する。又、部の代表責任者であり、その責任を学術文化部と部全体に負う。

一、副幹事は幹事を補佐し、幹事に支障ある時はその任務を代行する。又、福岡大学書道部OB会の事務を担当する。

一、会計は部費徴収並びに部費予算に関する収支の記録決算書を作成。

一、企画は第一章第二条に定められた本部の目的にそって諸活動を企画する。

一、庶務は本部の活動に必要な諸事務を行い、資料の収集保管をなし、機関誌の発行を行う。但し機関誌の発行は年一回とする。

一、第五条第十九条に基づく役員は、本部関係諸団体との親睦融和を図り部の向上を目指す。

## 第七章 会計

第二十五条 本部の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第二十六条 本部の部費その他の所定納入金については、前年度末に部会において決定しなければならない。

第二十七条 会計報告は会計が行う。又、部員の要求に応じて会計簿を公開し、年一回決算報告書を作成し、これを報告する。

## 第八章 部員の権利義務

第二十八条 本部の部員は次の権利を有する。

一、本部のあらゆる活動に参加し、人間形成の場として利用すること。

一、本部の部員総会に出席し、その議決に参加すること。

一、本部における選挙権、被選挙権を有する。

一、本部の備品及び図書を利用すること。

一、部員は次の義務を負う。

第二十九条 本部員は部員総会に出席すること。

一、但し、やむなく欠席する者は事前に欠席届を幹事に提出しなければならない。

一、部員は部費その他の所定納入金を定期に納入すること。

一、本部の規約に従うこと。

## 第九章 入部、退部

第三十条 本部の入部は年度始め募集することを原則とし、学文会登録及び入部金の納入をもって部員とする。

第三十一条 部の退部は書面をもって幹事に願い出て、役員会の承認を得、部員に通知する。但し退部を希望する者は、その在籍期間までの所定納入金を完納すること。

第十章 罰 則

第三十二条 書道を研究する熱意なく本部の名譽を汚したる者、部活動を理由なくして一ヶ月以上怠った者、又、部の秩序を乱す者は部より除名する。但し、欠席届提出者についてはこの限りではない。

第十一章 規約改正

第三十三条 本部規約改正の発議は部員総会において部員の四部の一以上の同意により総会の議決を経て行われる。尚、改正においては、本部員の三分の二以上の出席を必要としその出席者の三分の二以上の賛成を必要とする。

第十二章 附 則

附 一、本規約は昭和三十五年より実施、昭和四十五年四月一日改正。

福岡大学書道部書心会  
(規約)

第一章 総 則

第一条 本会は福岡大学書道部書心会と称する。  
第二条 本会は事務局を置くことかてきる。  
第三条 本会は支部署を置くことかてきる。

第二章 目的及び事業

第四条 本会は會員相互の親睦を図り、書道文化の普及、向上に努めると共に、書道振興の爲め、書道関係の振興に關する研究、事業を行う。  
第五条 本会は前条に規定する爲め、書道関係の振興に關する研究、事業を行う。

第三章 組 織

第六条 本会正會員は福岡大学書道部員として登録をなす者である。  
第七条 本会には、総会、評議委員会、及び事務局を置く。

第四章 役 員

第八条 本会は次の各号の役員を置く。  
会長(一名) 副会長(一名) 評議委員長(一名) 評議委員(三名) 事務局長(一名) 事務次長(一名) 監査委員(一名) 事務委員(一名)

第九條 本会は次の職務を行う。

第五章 役員

第八章 事務局、会計

第十條

一、 本会長は本会を統括し、且つこれを代表する。
二、 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
三、 評議委員長は、評議委員を統括し、且つこれを代表する。
四、 評議委員は、評議委員を補佐し、評議委員長の事務を代行する。
五、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。
六、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。
七、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。
八、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。
九、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。
十、 評議委員は、評議委員長の職務を代行する。

第六章 総会

第十一條

一、 総会は本会の最高議決機関である。
二、 総会は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 総会は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
四、 総会は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十二條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十三條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十四條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十五條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十六條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十七條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十八條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第十九條

一、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
二、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。
三、 評議委員は、本会の各号の場合、書心会会長かこれを召集する。

第七章 評議委員会

第一章 附則

第三十四條

本規約は、昭和六十一年一月十六日から施行する。

第十章 規約改正

第三十三條

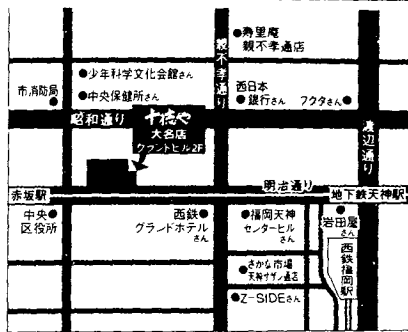
本規約の三分の二以上は評議委員会の審議を経なければならぬ。

海鮮市場

# 十徳や

## 大名店

福岡市中央区大名2丁目9-5グランドビル2F  
 ☎092-713-6544



本やテレビでおなじみのちゃんぽん専門店  
 「福寿亭」

- 特製ちゃんぽん……………¥500
- 皿うどん……………¥500
- 焼きめし……………¥400
- ギョーザ(8コ)……………¥280

城南区茶山6丁目1-27  
 福寿荘3号

\*\*\*出前致します…TEL(092)844-1508

書道用具専門店

# 雲峯堂

〒810 福岡市中央区茶山6丁目1-1  
 アクロス福岡B1  
 電話 (092) 725-1101(代)  
 FAX (092) 725-6924

SINCE 1501・室町文龜元年創業

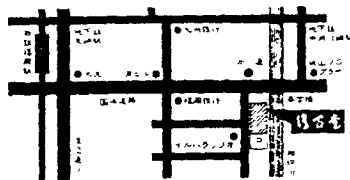


## 平助筆 復古堂

〒810 福岡市中央区春吉3-3-9

TEL 092-761-5122(代)

FAX 092-761-8367



—— 駐車場完備 ——  
 大丸デパートより徒歩5分

- アトリエメニュー
- 書画用筆墨硯紙・香色紙・短冊・料紙
- 和文具・書籍
- 額・表装・装額
- 搬入出引受
- 赤ちゃん筆、御用命承ります

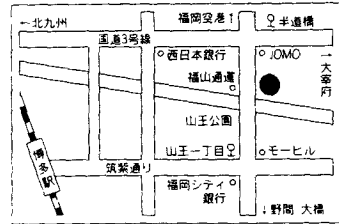
# 九州アメリヤ

# 福岡店

書道用品と表装は

**アメリヤ**とお決め下さい!

書道専科! 安さご満悦を!



福岡市博多区半道橋1-1-5 (毎週火曜定休) ☎092-451-2127

ぼけ八 本店

福岡市城南区友丘2丁目2-2

☎092-801-7763

party 60名までOK

串揚げ処

ぼけ八



福岡市城南区1丁目35-21

ハビネスM1階

☎092-845-3028

たばこ・食品・日用品

# 福大前メイン・ショップ

城南区片江5丁目45番15号

TEL 092-861-1577

中ノ子博多人形



## 編集後記

第四十一号『荒鷲』をようやく発行することか  
てきました。部員寄稿においては、例年通り五つ  
のテーマの下に書いて頂きました。部員それぞれ  
の物事の捉え方や感性の垣間見える、個性豊かな  
内容だったと思います。

我々第四十代役員は、歴代初二年連続して役員  
を務めることとなり、大変ではあったけれども、  
大学生活において、とても貴重な経験をするこ  
とからだと感じています。また、福大書道部創立  
四十周年という節目を迎え、今後の行く未来へ向  
けての要の年となるよう努力してまいりました。

さて、ミレニアムを迎えたこの年のこと、こ  
の第四十一号荒鷲を見ることが思い出し、卒業後  
にでも懐かしく読んで頂ければ幸いです。

最後に、本号『荒鷲』の発行に際し御協力を賜  
りました関係者各位の方々に部員一同感謝するこ  
とにも、心より厚く御礼申し上げます。

第四十代庶務 松下 健太郎

福岡大学学術文化部会書道部

機関紙 第四十一号『荒鷲』

平成十三年三月 発行

発行責任者 三好 幸弘

編集責任者 松下 健太郎

### 【発刊】

福岡大学学術文化部会書道部

住所

〒814-0133

福岡県福岡市城南区七隈

八一十九—一

電話 (092) 871-0472

### 【印刷所】

(有)いずみプリンティング

山口市旭通り二一六—四十一

電話 (0839) 24-4607

FAX (0839) 24-4603